

令和4年度事業計画

基本方針

近年の労働環境の変化と共に、新型コロナウイルス感染拡大防止対策などにより人流が止まり、事業実績の低迷あるいは新規入会者数の減といった状況が続き、明るい兆しが見えないまま新年度に突入しました。

また、地域においても少子高齢化に歯止めが掛からず人口減少が加速する中で、令和2年の高齢化率は33.6%、これが令和7年には36%、令和22年に至っては43%に達するのではとの市の試算にあるように、超高齢化社会が待ち受けていることとなります。この高齢化社会に対し、シルバー人材センターが果たす役割についてはより一層多岐にわたって求められるものと思われまます。そこで、高齢者にしかない知識と経験と技術を活かした事業を展開させ、就業を通じて生きがいの充実と福祉の増進に努め、会員自らが「生涯現役社会」の実現に向け取り組んでまいります。

第一次産業のりんご、稲作といった農作業では、何年もの間、人手不足に悩まされておりますが、シルバー人材センターへの受注依頼は依然多く寄せられます。農家同様、当センターにおいても農作業の担い手不足により、需要に応じきれない現実があります。地域を下支えするためにも農作業分野への就業会員の獲得あるいは養成を行っていく必要があり、方法を模索しているところです。

また、高齢者世帯の除雪作業においても、受注が増えシルバー人材センターへの期待は年々大きくなっているものの、こちらも会員数不足により応じ切れていない状況です。このように、会員数の増強が喫緊の最重要課題となっております。

会員数が減少の一途をたどっている中で、とりわけ女性会員数が著しく減少している状況に加え、既存会員の平均年齢も上昇し、今後を見据えた場合、非常に厳しい状況にあると感じています。

当市における60歳以上80歳未満の人口は9,925人(令和3年3月末現在)と総人口の30%を占めています。しかし当センターの会員数は、約1.8%に過ぎずこのことから地域に潜在している高齢者は多く、如何に興味を持たせシルバー会員として掘り起こせるかが重要な鍵と捉えています。

一方では、組織強化のために財政基盤の確立と併せて、事業運営の効率化のための事務局体制の強化と機能の充実を図る取り組みも合わせて邁進させてまいります。

事業実績目標

(前年度実績)

(1) 会員数	220名	(186名)
(2) 受託件数	2,200件	(2,027件)
(3) 就業延人数	15,000人日	(14,590人日)
(4) 契約金額	71,000千円	(64,697千円)

事業実施計画

1. 就業機会提供事業

(1) 就業機会の提供

活力ある地域社会づくりに寄与するため、一般家庭・民間企業・官公庁等から、臨時的かつ短期的な業務又はその他の軽易な業務を、請負又は委任により引き受け会員に提供します。

(2) 有料職業紹介事業

臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の簡易な業務に係る就業（雇用によるものに限る）を希望する会員を対象に、公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会と連携のもとに、有料職業紹介事業を行っていきます。

(3) 労働者派遣事業

公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会が派遣元で、当センターが実施事業所となり、派遣労働を希望する会員を対象に、法令を遵守した適正な労働者派遣事業を行うとともに、地域社会のニーズに沿った業務運営に資するため、高年齢者等の雇用の安定等に関する法律第39条に係る業務拡大を推進します。

2. 就業機会確保事業

(1) 安全・適正就業の推進

「全ての災害は防ぐことができる」を目標に掲げ、安全意識への高揚を図るため、安全・適正就業対策委員会が主体となり、安全パトロールの強化や再発防止のための講習会を開催し事故ゼロを目指します。また、適正就業対策については、就業機会の均等を図りながら未就業会員の実態把握に努め、就業の適正化と公平性に務めるとともに、適正就業ガイドラインに沿った事業運営を推進します。

(2) 普及啓発事業

シルバー事業の意義を地域社会に広く周知するために黒石市「広報くろいし」等の活用及びポスターの掲示やチラシの配布を強化するほか、「事務局だより」での情報提供をより充実させ、会員の就業及び活動強化に努めます。

喫緊の課題である会員数の増強は、会員及び役職員が一丸となり、シルバー事業の情報を発信しながら、口コミによる勧誘に努め、「一人一会員獲得運動」を展開させます。

また、ホームページをより充実させ、シルバー人材センター事業の役割と活動内容を広く地域社会にPRすることで、普及啓発と会員獲得のための情報を発信し普及啓発に努めます。

更に、青森県シルバー人材センター連合会では、10月の第三水曜日を「シルバーの日」として定め、県下一円で実施されるボランティア活動を通じてPRできる絶好の機会であることから、メディア媒体等をフルに活用し、広く情報を発信させシルバー人材センター事業の普及に努めます。

(3) 就業開拓提供事業

多くの会員に就業機会を提供できるよう、民間企業及び公共団体等にPR活動の実施あるいは訪問し就業の開拓に取り組みます。そのための就業希望調査を行い、会員の希望に沿った就業提供ができるよう努めます。

(4) 就業機会提供のための独自事業

高齢者世帯が安心して生活できるよう、家事介護班を中心とした会員が地域のお助け役となり、清掃や調理といった家事援助サービス事業を展開させ、安心して暮らせる地域社会づくりに貢献してまいります。また、高齢者世帯の除雪作業についてもシルバー事業で対応できる範囲についても対応してまいります。しかし、中には対応できない事案もあり、この様な事案については、企業や行政などの懸け橋となり発注者に不安や不便を感じないようにサポートにも努めてまいります。